

授業科目 教職概論

【担当教員名】 吉田 重和		対象学年	1	対象学科	健栄・スポ・看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
		○	◎	○	
【概要・一般目標：GI0】 本講義は、受講者が、教職の意義・役割・職務内容について理解し、教職に対する自らの適性を考察し、今後の教職課程を履修し続けるかどうかを決定できることを目標とする。本講義を通じて、教育の専門家として必要な基礎的知識を身に付けるとともに、教育者としての使命感や教育愛を養うことが期待される。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 学校教育の目的及び教職員の使命について、その法的根拠に基づいて理解する。 2. 子どもをめぐる諸問題への対応について、その背景となる現代社会との関連で理解し自分の言葉で説明できる。 3. 国際化・情報化などの新しい教育課題への対応について、その背景となる社会の変化との関連で理解し発表できる。 4. 自己の教職への適性を踏まえ、自分なりに教職の意義を説明できる。 5. 得られた情報とそこから言えることを批判的に検討し、論理的に記述しようとする。 6. グループ作業や課題に対して主体的に取り組み、自分なりの考えを持つようとする。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション／教職科目履修の動機と目指す教師像			1.6	講義、グループワーク
2	学校教育の意義			1.6	講義、グループワーク
3	学校教育の現状と課題			1.6	講義、グループワーク
4	教員の身分と服務義務			1.6	講義、グループワーク
5	教員の職務の具体的な内容			1.6	講義、グループワーク
6	幼児・児童・生徒の発達課題			2.6	講義、グループワーク
7	最近の幼児・児童・生徒の傾向			2.6	講義、グループワーク
8	最近の問題行動と対応の在り方1—いじめ・不登校—			2.6	講義、グループワーク
9	様々な問題行動と対応の在り方2—学級崩壊・暴力行為—			2.6	講義、グループワーク
10	学校・家庭・地域社会の役割と連携			2,3,6	講義、グループワーク
11	人権教育の推進			2,3,6	講義、グループワーク
12	様々な教育課題と対応の在り方			2,3,6	講義、グループワーク
13	今後、教員に求められる資質能力			1,3,6	講義、グループワーク
14	教員のライフステージに応じた研修の制度及びその内容			1.6	講義、グループワーク
15	教員としての適性の理解と進路選択／学習の自己評価と進路選択			4.5	まとめ
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		教職の意義と教員の職務	篠田 信司	三省堂	2008・2,200円＋税
参考書					
その他の資料		必要に応じてプリントを配布			
【評価方法】 平常点（出席、ワークシート、小レポート） 50% 期末試験 50%		【履修上の留意点】 教職課程における最初の科目である。教員免許の取得を目指す学生は1年次に履修すること。			